

十^{じゅう}

二^に

礼^{らい}

七高僧の第一祖りゅうじゆぼさつ竜樹菩薩が阿弥陀仏の徳を中心とする浄土の美しく尊いすがたをたたえて、この浄土に生まれるよろこびをともしたいという願いをうたわれた偈うたである。

讚嘆さんだんらいはい礼拝の心が十二回くりかえされているので十二礼という。

稽首天人所恭敬

阿弥陀仙両足尊

在彼微妙安楽国

無量仏子衆圍繞

2 金色身淨如山王

奢摩他行如象歩

3 両目淨若青蓮華

故我頂礼弥陀尊

3 面善円淨如満月

威光猶如千日月

声如天鼓俱翅羅

故我頂礼弥陀尊

4

観かん音のん頂ちやう戴だい冠かん中ちゆう住じゆう
(ワル)(ワル)

種しゆ種じゆ妙めう相そう宝ほう莊しやう嚴ごん
(ワル)

能のう伏ぶく外げ道どう魔ま憍けう慢まん
(ワル)

故こ我が頂ちやう礼らい弥み陀だ尊そん

5

無む比び無む垢く広こう清しやう淨じやう

衆しゆう德とく皎けう潔けつ如によ虚こ空くう
(ワル)

所しよ作さ利り益やく得とく自じ在ざい

故こ我が頂ちやう礼らい弥み陀だ尊そん

6

十じつ方ほう名み聞もん菩ぼ薩さつ衆しゆ

無む量りやう諸しよ魔ま常じやう讚さん嘆だん

為い諸しよ衆しゆ生じやう願がん力りき住じゆう
(ワル)

故こ我が頂ちやう礼らい弥み陀だ尊そん

金底宝間池生華

善根所成妙台座
(ワル)

於彼座上如山王

故我頂礼弥陀尊

十方所来諸仏子⁸

顯現神通至安樂

十二礼

瞻仰尊顔常恭敬

故我頂礼弥陀尊

諸有無常無我等⁹

亦如水月電影露

為衆説法無名字

故我頂礼弥陀尊

八九

10

彼ひ尊そん仏ぶつ刹せつ無む悪あく名みやう

亦やく無む女にょ人にん悪あく道どう怖ふ

衆しゆ人にん至し心しん敬きやう彼ひ尊そん

故こ我が頂ちやう礼らい弥み陀だ尊そん

11
彼ひ尊そん無む量りやう方ほう便べん境きやう

無む有う諸しよ趣しゆ悪あく知ち識しき

往おう生じやう不ふ退たい至し菩ぼ提だい

故こ我が頂ちやう礼らい弥み陀だ尊そん

12
我が説せつ彼ひ尊そん功く徳どく事じ

次第じだい衆しゆ善ぜん無む辺へん如にょ海かい水すい

所しよ獲ぎやく善ぜん根こん清しやう浄じやう者しゃ

回え施せ衆しゆ生じやう生しやう彼ひ国こく

● 南な無な阿ま弥ん陀だ○ 仏ぶ

● 南な無な阿ま弥ん陀だ 仏ぶ

南な無な阿ま弥ん陀だ 仏ぶ

南な無な阿ま弥ん陀だ 仏ぶ

南な無な阿ま弥ん陀だ 仏ぶ

南な無な阿ま弥ん陀だ ○ 仏ぶ

十二 礼

● 願がん 以に 此し 功く 徳どく

● 平びよう 等どう 施せ 一いつ 切さい

同どう 發ほつ 菩ぼ 提だい 心しん

○ 往おう 生じよう ○ 安あん 樂らつ ○ 国こく

九一